

科目	保健福祉学	担当	吉永 洋子	履修学年	2年
時間数	90分×時限×8回(週1回)	履修区分	選択	単位数	1単位

**【授業目標・到達目標】**

医療保健専門職の理学療法士・作業療法士が勤務する医療機関においては他職種連携が必要不可欠である。特に、患者が疾病や障害を抱えての生活を送るにあたり、社会福祉である制度を利用し、生活の基盤を整える支援を実施する職種がソーシャルワーカー(以下、SW)である。

本講義においての目標は、医療保険を中心とした制度及びSWの役割の理解である。到達目標は、制度利用を中心に患者の生活を地域機関と連携して構想するSWの役割について理解を深め、機関内でのSWとの連携について考察することとする。

**【履修注意】**

欠席・遅刻は原則認めない。遅刻2回で欠席1回とみなし、欠席が2回を超えると期末試験の受験はできず、単位は与えない。出欠については講義のミニテストにおいて確認をする。

**【評価方法】**

①受講態度、授業への参加態度、②毎講義のミニテスト、③試験の総合評価とする。

**【試験について】**

8回目に期末試験を実施する。筆記試験とする。詳細は、講義期間中に説明する。

再試験対象者の条件： 期末試験を受験していること

**【予習・復習】**

毎回講義の最後に講義内容についてのミニテストを実施する予定である。それぞれの講義内容が関連していることも多く、復習は必要である。

**【教科書】**

教科書は使用しない。講義に必要な資料などはその都度配布する。

**【参考書】**

講義において随時紹介する。

**【その他の注意事項】**

**【授業計画・内容】**

回数	項目	内容
1	オリエンテーションー保健福祉学	保健及び社会福祉について理解する
2	医療関係(制度を中心に)	医療保険制度・診療報酬制度を中心に学ぶ
3	医療関係(現場を中心に)	医療現場について学ぶ
4	高齢者福祉	介護保険制度及び関係機関
5	障害者福祉	障害者自立支援法及び関係機関
6	年金制度	老齢及び障害者年金
7	改めて考える保健福祉学	まとめ
8	定期試験	1～7コマの復習・確認・まとめ
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		